

## 大船渡発

### 復興ドラマ 冬のホタル

震災からの復興の歩みをつづった県が発信するドキュメンタリードラマ「冬のホタル」の撮影がメインロケ地の大船渡で行われました。東京から被災地に来た若い女性の不思議な体験を描くこのドラマはオーディションで選ばれた盛岡市の会社員、刈屋真優さん主演。監督は北上を拠点に映像制作に取り組む都鳥拓也さんと都鳥伸也さん兄弟です。ドラマは来年3月完成予定で、県内6か所で上映会が行われたあとIBCテレビで放送されます。またWEBでの発信も行われます。(12/9 ニュース)



## 大槌発

### 月命日 行方不明者の搜索

震災の発生から5年9か月になるのにあわせて大槌町では、釜石警察署の署員14人が町内を流れる小釜川の河川敷で行方不明者の搜索を行いました。署員は人の背丈ほどに伸びた草や枯れ枝を刈り払いながら手がかりになるようなものがないかていねいに見て回りました。県内では未だ1123人の行方がわかっていません。(12/11 ニュース)



## 釜石発

### 高校体育館で最後の第九

歳末恒例ベートーベンの第九交響曲の演奏会が釜石高校の体育館で開かれました。釜石の第九は長年、市民文化会館を会場に行われてきましたが、文化会館が津波で被災し取り壊されたため会場を釜石高校の体育館に移して続いてきました。新しい市民ホールが来年秋に完成することからここでの第九は今年が最後になります。第4楽章の合唱には322人が参加し歓喜の歌声を響かせていました。(12/11 ニュース)



## 盛岡発

### 一本松の衝立を寄贈

山形県東根市の建具職人・菅原孫三さん82歳が「奇跡の一本松」をデザインしたケヤキ製の衝立を作り、県に寄贈しました。菅原さんは震災の大津波に耐えた一本松の力強さに心を打たれ、震災直後に陸前高田市を訪れ実際の一本松を見ながらデザインを考えました。達増知事は「大切に飾ります」とお礼を述べました。(12/12 ニュースエコー)



## 大船渡発

### 吉浜の津波石 周辺整備

震災のあと大船渡市三陸町吉浜で発見された昭和三陸大津波の記念碑・「津波石」。地元の保存会による周辺整備が完了し、巨大な岩を動かす津波の脅威を伝えています。津波石は昭和の三陸大津波により200メートルほど移動したという高さ2.1メートル、重さ36トンの巨大な花崗岩です。昭和8年3月3日の津波で打ち上げられたことなどが刻印され、地域に津波の威力を伝えていましたが、昭和50年代の道路工事で斜面の中に埋められてしまっていました。よみがえった津波石は、2つの津波の記憶を次の世代に伝えていきます。(12/13 エコー)



## 陸前高田発

### さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

陸前高田災害FMの菅野陽子さんが、今月10日に放送した開局5周年番組について伝えてくれました。陸前高田と立教大学交流展が開かれている東京芸術劇場特設会場から生中継で、戸羽陸前高田市長、西田立教大学副総長をゲストに迎えて話をしたり、スタジオで五味岩手大学教授や在住外国人、学生たちによる楽しい番組を放送したりしたという事です。菅野さんは、住民の皆さんとともに進んでいけるFMを目指していきたいと話していました。(12/14)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中  
詳細はIB公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>  
IBC復興支援室事務局 019-623-3122